



浜松市

平成23年度 外部評価資料

資料番号	事業名	所管課
2-4	ごみ収集事業	資源廃棄物政策課

事業シート5

課コード: 001505000
 担当組織: 資源廃棄物政策課

作成日: 平成23年5月30日
 責任者: 一ノ瀬 秀次

基本政策	課	政策	目	事業	款	項	目	事項	款	項	目	事項
計画コード	07	03	0163	01	016305	予算コード	16	16	12	15		

事業名: ごみ収集事業

事業費 (予算) (単位:千円)	22年度	23年度	比較	人工 (正規職員) (単位:人)	22年度	23年度	比較
	203,671	189,639	△ 14,032		2.8	2.8	0.0
23年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他
	146	178,486					11,007

◆事業の目的

家庭から排出されるごみを衛生的に収集運搬する。

◆事業内容(平成23年度に何をやるか)

中事項

- ・ごみ収集運搬事業(舞阪・雄踏地域)
家庭から排出されるごみを衛生的に収集運搬する。段階的に委託化を進めている。
- ・粗大ごみ受付センター運営事業

事業内容

粗大ごみ受付センターの運営委託(粗大ごみ・路上死犬猫回収受付、ごみの出し方の問合せ対応)システムリース・保守

粗大ごみ排出時に市民の窓口となる粗大ごみ受付センターを安定的に運営する。また、今後は浜松処理区で実施している粗大ごみ受付センター業務を市内全域を対象とした受付システムの一元化について検討する。

◆これまでの取組状況(平成22年度に何をを行い、その結果はどうなったか)

- ・ごみ収集運搬事業(舞阪・雄踏地域)

平成22年10月から舞阪・雄踏処理区のごみ(資源物含む。)の処理については、湖西市との事務委託が終了したことにより本市で処理することとなったが、本市の処理施設で処理できない品目については市内民間業者に業務委託することで適正に処理した。

平成21年度の収集量 舞阪・雄踏処理区 6,321.9t(資源物含む。)

平成22年度の収集量 舞阪・雄踏処理区 5,955.1t(資源物含む。)

- ・粗大ごみ受付センター運営事業

粗大ごみ受付センターに粗大ごみ等の処理を申込まれた市民に対し適切に対応できた。

平成21年度の受付件数が、155,622件、平成22年度の受付件数が143,949件である。

開始年度	終了予定年度	事業の性格分類	根拠法令等					
昭和 49 年	年	自治事務	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
会計区分	戦略性	マニフェスト	事業の特徴	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働
一般会計								
行革審答申	外部評価	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
	*H20は事業仕分け							

(単位:千円)		H22	H23	H24計画	H25計画	H26計画	H23~26計
事業費	予算	203,671	189,639	189,639	189,639	189,639	758,556
	決算	189,128					0
財源内訳	国・県支出金						0
	市債						0
	その他						0
	一般財源	189,128	189,639	189,639	189,639	189,639	758,556
	*一般会計繰入						0
人件費(報酬等)		0	0				0
人件費		22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	89,600
内訳	人工(正規)	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	—
	人工(非常勤)						—
	人工(再任用)						—
年間経費(事業費+人件費)		211,528	212,039	212,039	212,039	212,039	848,156

成果指標1		直営による収集業務の委託化率を指標とする					
種類	アウトプット(活動指標)	単位	H22	H23	H24	H25	H26
	目標	%	60				
	実績	%	60				

成果指標2							
種類		単位	H22	H23	H24	H25	H26
	目標						
	実績						

◆事業の成果(平成22年度末時点での目的の実現状況 ※活動ではなく状態)

委託化の推進及び民間活力の導入により、効率的かつ合理的な収集体制の構築を図る目的で、可燃・不燃ごみ等の収集運搬業務を順次委託化してきており、衛生的に収集運搬を行った。粗大ごみの受付件数については、平成21年度が155,622件、平成22年度が143,949件である。

◆評価(平成22年度事業の評価)

(1) 必要性: 継続

(理由)

廃掃法による市町村の固有事務であるため、継続実施しなければならない。

(2) 実施主体: 市

(理由)

廃掃法により、実施主体は市である。

(3) 選択と集中 集中

(理由)

現在、収集運搬業務は委託化しており、複数年(4~5年)の債務負担を設定しているため、予算の現状維持が必要である。粗大ごみ受付業務については、浜松市全域を対象とした受付システムの一元化に向けた予算措置が必要である。

(4) 改善: その他改善

(理由)

収集運搬業務については長期継続契約にしており、経費削減が図られた。粗大ごみ受付業務については、浜松市全域を対象とした受付システムの一元化することにより、効率的な受付業務を行なうことが可能である。

今後の方向性 改善

収集運搬委託業務については、処理区域の見直しを踏まえ、衛生的で効率的かつ合理的な業務内容に見直しを行う。粗大ごみ受付業務については、浜松市全域を対象とした受付システムの一元化について検討する。

◆改革・改善(評価を反映して何を見直したか)

(1) これまでに実施した改革・改善(平成23年度予算で反映したものを含む)

全市域を対象とした粗大ごみ受付システムの一元化について検討している。

(2) 今後の改革・改善計画(いつまでに何をどう見直す)

平成25年度に予定している全市域ごみ分別統一制度の施行に伴い、現行の処理区域の見直しを行っている。また、この制度に併せて粗大ごみ受付システムの全市域への一元化についても検討している。

補足シート5-①

款	項	目	事項	
予算コード	16	16	12	15 05

事業名： ごみ収集運搬事業

事業費 (予算) (単位:千円)	22年度	23年度	比較	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働
		152,678	138,646					
23年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他	
	146	138,493					7	

◆事業内容(平成23年度に何をやるか)

家庭から排出されるごみを衛生的に収集運搬する。

◆これまでの取組状況(平成22年度に何を行い、その結果はどうだったか)

平成21年度の収集量 舞阪・雄踏処理区 6,321.9t(資源物含む。)
 平成22年度の収集量 舞阪・雄踏処理区 5,955.1t(資源物含む。)
 平成22年10月から舞阪・雄踏処理区のごみ(資源物含む。)の処理については、湖西市との事務委託が終了したことにより本市で処理することとなったが、本市の処理施設で処理できない品目については市内民間業者に業務委託することで適正に処理した。

補足シート5-②

款	項	目	事項	
予算コード	16	16	12	15 10

事業名： 粗大ごみ受付センター運営事業

事業費 (予算) (単位:千円)	22年度	23年度	比較	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働
		50,993	50,993					
23年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他	
		39,993					11,000	

◆事業内容(平成23年度に何をやるか)

粗大ごみ排出時に市民の窓口となる粗大ごみ受付センターを安定的に運営する。また、今後は浜松処理区で実施している粗大ごみ受付センター業務を市内全域を対象とした受付システムの一元化について検討する。

◆これまでの取組状況(平成22年度に何を行い、その結果はどうだったか)

粗大ごみ受付センターに粗大ごみ等の処理を申込まれた市民に対し適切に対応できた。平成21年度の受付件数が、155,622件、平成22年度の受付件数が143,949件である。

論点シート

事業番号	2 - 4	事業名	ごみ収集事業
部局	環境部	所管課	資源廃棄物政策課
H23 予算	189,639 千円	所管課	改善（その他）
H22 予算	203,671 千円	一次評価	
評価対象事業についての論点等			
<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ収集運搬事業の委託はどのように契約しているか、競争原理は働いているか、現状が複数契約ならば契約をまとめることによりスケールメリットが期待できないか ・粗大ごみ受付センターの委託業務の内容は、約 4 千万円の委託料は妥当な額か、非常勤職員や再任用職員を活用したほうが効果的・効率的ではないか 			
評価対象事業についての二次評価			
<p>【改善（その他）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ収集運搬の委託について、より効率的な方法を検討すべき ・粗大ごみ受付センター業務について非常勤職員の活用も含めて、効率的な方法を検討すべき 			